

5年 学習計画 5月25日(月)～26日(火)

5月25日		5月26日	
月		火	
国語		国語	
1 8:45 ～ 9:30	<p>漢字練習【編・確・構】～下じきは入れているかな？漢字学習の進め方はかんぺきに覚えたかな？～</p> <p>【四年生で学んだ漢字②】教科書p78</p> <p>①日付題名(四年生で学んだ漢字②)をノート(一行目・二行目)に書く。</p> <p>〈〈めあて〉〉</p> <p>絵の中の言葉や線の漢字を全て使って、家の様子を文章で表そう。</p> <p>〈自分の考え〉</p> <p>②絵の中の言葉や線の漢字を使って、家の様子を表す文章を書きましょう。</p> <p>～前回と注意点は、同じです。～</p> <p>※絵の中の言葉と言葉を組み合わせてもO</p> <p>例:窓から、北極星に願いごとをする。</p> <p>※教科書p78の例をもとに作ろう。※できるだけ習った漢字が使えるといいね！※一文の中で、いくつ漢字が使えるかな？辞典を使ったり、教科書p135「漢字を学ぼう」を活用したりしてみよう。</p> <p>漢字ノート・ドリルと同じようにていねいに書きます。</p> <p>〈ふり返り〉</p> <p>絵の中の言葉を使って文章を作るときにどんなことに気を付けて書きましたか。</p> <p>文章の主語や述語には何が入りましたか。</p>	<p>【作文】教科書p130～133</p> <p>※5/12の配布物「作文」ノートを使います！</p> <p>〈〈めあて〉〉</p> <p>だん落を意しきして、「休校期間中がんばったこと」を書こう。</p> <p>◎「書くときに気を付けたいこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容は、1ページにおさめる。 ・伝えたいことをだらだらと書かないようにします。 ・ていねいな字で書く。 ・学校が再開したら、家庭学習として出すことがあります。一回一回の積み重ねを大切に。 ・句点(。)、読点(、)に気を付ける。 ・書き終わったら声に出して、読んでみましょう。句点や読点を入れると読みやすい文章になります。 ・文末の表現や言葉の使い方に気を付ける。 ・理由(～だからです。)など、主語との関係に気を付けよう。2つのことを同時に言うとき(～したり～たり)の言葉にも気を付けて。 ・だん落に整理しながら書こう。 ・始め(自分の考え)・中(始めに伝えた内容についてくわしく)・終わり(まとめの文や自分の考え)に分けて書いてみよう。 <p>〈ふり返り〉※書かなくていいよ。</p> <p>◎「書くときに気を付けたいこと」について意識できたかチェックしよう。</p>	
2 9:35 ～ 10:20	<p>【体積】(教科書p.25)</p> <p>①日付・問題(p.25⑥)を書き、見直しをもつ。(先週とちがうところはどこかな。)</p> <p>問題 あつさ1cmの板で作った、右のような直方体の形をした入れ物があります。この入れ物いっぱいに入る水の体積は何cm³でしょうか。(入れ物は教科書を見ましょう。)</p> <p>見直し(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水をいっぱい入れたら直方体になる。 ・入れ物の内側の直方体の体積を求めればよい。 <p>②めあてを書く。</p> <p>めあて 入れ物いっぱいに入る水の体積の求め方を考えよう</p> <p>③自分の考えを書き、【算数の答え③】で丸つけをする。</p> <p>自分の考え</p> <p>※どこの長さを使って、体積を求めればいいのか？</p> <p>考えがうかばない人は、△1をやって考えてみましょう。</p> <p>④「容積について」(p.25オレンジ部分)と、「まとめ」をノートに書く。</p> <p>◇容積 入れ物などの内側のたて、横、深さを内りという。</p> <p>入れ物の内側いっぱいの体積を、その入れ物の容積という。</p> <p>まとめ 入れ物の容積は、直方体の体積と同じように、たて、横、深さを使って求められる。(容積の場合は、高さが深さになっています。)</p> <p>※p.25下「身のまわりの算数」も読んでみましょう。</p> <p>⑤たしかめ⑦(p.25)をとき、学習のふり返りを書く。</p> <p>たしかめ・ふり返り</p> <p>☆答え☆【算数の答え③】を見て、丸つけをしよう。</p>	<p>【体積】(教科書p.26)</p> <p>①日付・問題(p.26△1)を書く。</p> <p>問題 1Lの水をたて10cm、横10cmの入れ物に入れると、高さが10cmになります。1Lは何cm³でしょうか。</p> <p>②めあてを書く。</p> <p>めあて 体積の単位と水のかさの単位Lの関係を調べよう</p> <p>③自分の考えを書き、【算数の答え③】を見て、丸つけをする。</p> <p>※p.26△1の図を参考にしましょう。</p> <p>④△2、△3をとく。</p> <p>♪ヒント♪教科書のどんぐりくんのヒントも参考にしましょう。</p> <p>△2 1m³は1000000cm³ を使って考えてみましょう。 ※p.24△1をふり返ろう。</p> <p>△3 1L=1000mL 1L=1000cm³ を使って考えてみましょう。</p> <p>⑤まとめを書く。</p> <p>まとめ</p> <p>〈今日の算数について〉</p> <p>これまでのノートや教科書を見ても答えを出すことがむずかしいときは、【算数の答え③】を見て、まとめをノートにうつしましょう。</p> <p>出来なかった人も、学校で確認するので安心してくださいね。</p>	
3 10:40 ～ 11:25	<p>【四年生で学んだ漢字③】教科書p120※この時間の国語は、ある教科とつながりがあります！さて、何だろう……？「四年生で学んだ漢字」のラストスパート！</p> <p>①日付題名(四年生で学んだ漢字③)をノート(一行目・二行目)に書く。</p> <p>〈〈めあて〉〉</p> <p>できるだけ習った漢字を使って、絵の中の都道府県を文章で表そう。</p> <p>〈自分の考え〉</p> <p>②絵の中の都道府県名を使って、文章を書きましょう。</p> <p>～前回と注意点は、同じです。～</p> <p>※絵の中の言葉と言葉を組み合わせてもO</p> <p>例:栃木県の湯葉は、ぼんずにつけて食べる。</p> <p>★その県をPRする文章もいいね！どんな文章ができるだろう……</p> <p>※教科書p120の例をもとに作ろう。※できるだけ習った漢字が使えるといいね！※一文の中で、いくつ漢字が使えるかな？辞典を使ったり、教科書p135「漢字を学ぼう」を活用したりしてみよう。</p> <p>漢字ノート・ドリルと同じようにていねいに書きます。</p> <p>〈ふり返り〉</p> <p>絵の中の言葉を使って文章を作るときにどんなことに気を付けて書きましたか。</p> <p>文章の主語や述語には何が入りましたか。</p> <p>★参考にするの良いもの</p> <p>地図帳(都道府県名だけでなく、地名など文章を作るヒントがあるよ。)</p>	<p>【ふりこの運動】④ 教P11～14</p> <p>※準備するもの/配布された理科ワークシート④/「ふりこ実験器」</p> <p>・ストップウォッチ</p> <p>〈めあて〉「ふりこ実験器」を使って、ふりこの法則を確かめよう。</p> <p>(1)問題 教P11「問題」をワークシート④に書き写す。</p> <p>ふりこが1往復する時間は、何によって変わるのだろうか。</p> <p>(2)予想</p> <p>これまで学んだことをもとにして、ふりこが1往復する時間は、何によって変わるか予想を書く。</p> <p>(3)計画</p> <p>調べる条件を1つ決めたら、その他の条件は同じにする。(教P11をよく読む)</p> <p>(4)実験(結果はワークシート④に記入)</p> <p>条件を変えて、ふりこが1往復する時間を調べる。</p> <p>ア. ふりこ1往復する時間は、ふりこの長さの関係しているか。</p> <p>イ. ふりこが1往復する時間は、おもりの重さの関係しているか。</p> <p>(5)わかったこと(教P14を見てまとめる)</p> <p>(6)ふり返り</p> <p>※ワークシート④をノートにはりましょう。後日提出です。</p> <p>※足立区から配信予定の授業動画も参考にしてください。</p>	
4 11:30 ～ 12:15	<p>【日本の国土と人々の暮らし】⑥ 教P16、17、資料集P23</p> <p>※日付・めあてを書く。(ノート例は、HPに添付書類があります)</p> <p>〈めあて〉日本の領土をめぐる、どのような問題があるか調べよう。</p> <p>(1)教P16や、資料集P23を読んで、以下の島々をめぐる問題についてまとめよう。</p> <p>①北方領土</p> <p>②竹島</p> <p>③尖閣諸島</p> <p>(2)まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土や、竹島、尖閣諸島は、日本固有の領土である。 ・北方領土はロシアが、竹島は韓国が不法に占拠している。 ・日本政府は、ロシアや韓国との領土問題に対して平和的に解決しようとしている。 ・日本政府は、日本による尖閣諸島の領有は問題ないと考え中国に対して冷静に対応しようとしている。 <p>(3)ふり返り</p> <p>この単元の学習全体を振り返って学んだことや気付いたこと、もっと調べてみたいことや疑問に思ったことなどを書こう。</p> <p>※動画: 資料集 P23 下段QRコード</p> <p>「日本の東西南北の端はどこ？」(NHK for schoolより)</p>	<p>【私の生活、大発見！】 教P6. 7</p> <p>(1)P6を見て、普段の1日の過ごし方をふり返ろう。</p> <p>(2)ふり返った後に、P7を読みましよう。</p> <p>〈めあて〉家庭にある仕事を見つけよう。</p> <p>家庭には様々な仕事があります。どのような仕事があるか、考えよう。</p> <p>(3)P7 活動1「話し合おう」に記入しよう。</p> <p>考えが思いつかない時は、家族の人にインタビューしてみよう。</p> <p>(4)自分で記入したことを見て、気づいたことを書こう。</p> <p>それぞれの仕事は誰がしているかな。自分にもできる仕事はあるかな。どのように協力しているかな。などに注目して書いてみよう。</p> <p>〈まとめ〉家族一人一人が健康で気持ちよく生活するために、さまざまな家庭の仕事がある。</p> <p>家庭には、さまざまな仕事があります。休校中、家の仕事の中でできることを増やしてみましよう！</p>	
昼食			
午後	<p>【加平小 体力向上運動カード】または学校HP「体力向上・お家でもできる運動・親子でもできる運動に関するウェブサイトの紹介」から1つ取り組む。</p>	<p>【加平小 体力向上運動カード】または学校HP「体力向上・お家でもできる運動・親子でもできる運動に関するウェブサイトの紹介」から1つ取り組む。</p>	
復習タイム	<p>国語 漢字「編・確・構」→丸付けまで(後日提出)。</p> <p>算数 教科書p.260◇5～◇7(先週終わっているところはやらなくていいです。)</p> <p>※算数ノートに行き、教科書p.285を見て丸つけ、ときなおしをしましょう。</p>	<p>国語プリント 漢字ドリル57をドリルに書く→丸付け、赤で丁寧に直す。</p> <p>算数 教p.260◇8、◇9</p> <p>※算数ノートに行き、教科書p.285を見て丸つけ、ときなおしをしましょう。</p>	

5年 学習計画 5月27日(水)～28日(木)

登校日

5月27日		5月28日		5月29日	
水		木		金	
国語		国語			
1 8:45 ～ 9:30	漢字練習【解・困】～ドリル・練習ノートのてい出が近づいています！進め方にそって集中！ていねいに！～ 【方言と共通語】教科書p121 教科書を読み、アクセントを体けんしてみよう。 【漢文に親しむ】教科書p66～71 ①日付題名(漢文に親しむ)をノート(一行目・二行目)に書く。 <<めあて>> 声に出して読み、漢文のリズムを感じよう。 <自分の考え> ②教科書p67の漢文(書き言葉)を声に出して読んでみよう。(p66にはふりがながふっていません。P66を見て、少し意味を予想してみたら楽しいかな?) ③教科書p66の漢文(はだ色)を声に出して読もう。※暁・眠・処・啼は、習っていない漢字ですが、部首からもイメージ! ④教科書p67の詩ともう一度読み比べてみよう。発見や、考えたこと、感じたことを書いておこう。 <まとめ> 昔の中国の書き言葉→漢文 <ふり返し> 日本の文章とどんな違いがありましたか。※音読して感じたことを書いてみよう。	【いつか、大切なところ】教科書p14～27 教科書p14～27を読み下の3つについて考えよう。 ①登場人物は?②この物語の中心となる人物(=中心人物)は?③この物語を読んだことがない人に、「どんなお話?」と聞かれたら?おうちの人がいたらお話してみてもいいね。 【漢文に親しむ】教科書p66～71 ①日付題名(漢文に親しむ)をノート(一行目・二行目)に書く。 <<めあて>> 声に出して読み、漢文のリズムを感じよう。 <自分の考え> ②教科書p68・70の漢文(書き言葉)を声に出して読んでみよう。(となりに意味が載っています。最初から読まずに、少し意味を予想してみた方が楽しいかな?) ③教科書p68または、70の漢文(はだ色)をていねいにうつそう。(気に入った方をえらぼう。) <まとめ> 漢文や漢詩→漢字から意味や、風景をイメージできる。 <ふり返し> 漢文や漢詩にはどんな良さ、発見がありましたか。 ※明日は、登校日です。漢字ドリル・ノートはてい出できるかな。きちんと見直しをする時間を必ず作りましょう。たしかめることで、自分の今後の目標が見つかるかも!?			
2 9:35 ～ 10:20	算数 【体積】(教科書p.27) ①日付・問題・めあて(p.27③)を書く。 問題 面積や体積の単位を単位をままとめよう。 めあて 長さや面積の単位をもとにして、体積の単位についてままとめよう ②p.27△1の表をノートにうつし、表を完成させる。 ※教科書p.302の「⑩面積」「⑪長さ、かさ、重さ」や、今までのノートをふり返りながら書きましよう。 ※表は定ぎを使って、ていねいな字で書きましよう。 (ノート例) 自分の考え <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 200px; height: 40px;"> <tr> <td style="text-align: center;">△1の表</td> </tr> </table> ※【算数の答え③】を見て、丸つけをましよう。 ③△3をとく。※表を見たり、今までのノートをふり返ったりして考えましよう。 ④まとめを書く。 まとめ ・1000倍を表す単位にはk(キロ)がつく。 ・1辺の長さが10倍になると、面積は100倍、体積は1000倍になる。 ⑤学習のふり返りを書く。 ふり返し ☆答え☆【算数の答え③】を見て、丸つけをましよう。	△1の表	算数 【体積】(教科書p.28) ①日付・問題(p.28④)を書き、見通しをもつ。(立体は教科書を見ましよう。) 問題 右のような立体の体積の求め方を考えましよう。 見通し(例) ・直方体が組み合わさっている。 ・面積のときは(2つに)分けて考えた。 ②めあてを書く。 めあて 組み合わせた立体の体積の求め方を考えよう ③自分の考えを言葉、数、式、図などを使って書き、【算数の答え③】を見て、丸つけをましよう。(みなとさん、かえでさん、はるさんの3つの考えをのせています。) 自分の考え ※書き方にこまったら、【算数の答え③】を見て考えましよう。 ④教科書p.28 のみなとさんやかえでさんの考えをノートにままとめる。 ※自分の考えと同じ場合は書かなくていいです。 みなとさんの考え かえでさんの考え ⑤△2をとく。※自分の考えにすでに書いている人は書かなくていいです。 ⑥まとめを書く。 まとめ 組み合わせた立体の体積は、直方体や立方体の形をもとにして考えると体積を求めることができる。 ⑦たしかめ⑨(p.28)をとき、学習のふり返りを書く。 たしかめ・ふり返し ☆答え☆【算数の答え③】を見て、丸つけをましよう。		
△1の表					
3 10:40 ～ 11:25	社会 【日本の国土と人々のくらし】⑦ 2 日本の地形や気候 教P18、19 ※日付・単元名・めあてを書く。(準備するもの:教科書、ノート、地図帳) <<めあて>>四季の移り変わりやさまざまな地形を見て、日本の地形や気候について調べてみたいことを考えよう。 (1)教P18写真①(四季のうつり変わりのようす:青森県弘前市)を見て、季節ごとに気付いたことを書こう。(※地図帳P17で青森県弘前市の位置を確認する。) ・春… ・夏… ・秋… ・冬… (2)自分たちが住んでいる地域(足立区)の四季のうつり変わりと比べると、どのような違いや共通点があるか考えて書こう。 ・ちがい… ・共通点… (3)教P19写真②③④を見て、気付いたことや気になることを書こう。(※教P19写真②③④の位置を地図帳P16～17を見て確認する。) ・②… ・③… ・④… (4)今日の学習を通して感じたことや、日本の地形や気候についてこれから調べてみたいことを書こう。	【ふりこの運動】⑤ 教P16～17 ※準備するもの:教科書、ノート <<めあて>>学習したことを生かして問題に取り組もう。 ままとめよう(※ノートに書く) P16 ①(1) (2) ②調べる条件 そろえる条件 ⑦ふりこの長さ () () ⑧おもりの重さ () () ③活用(学びを生かそう) P17 できるようになったかな この学習を通して学んだことについて、ふり返ってみましよう。もっと調べたいことや、心に残ったことはなんですか。 ★答えは、加平小ホームページのPDFファイルにあります。			
4 11:30 ～ 12:15	音楽 <<めあて>>「こいのぼり」の曲について自分の思いをもとう。 ※5年音楽の学習①(表)をよく読んで取り組みましよう。 ※プリントの提出は、学校再開後の音楽の時間です。 ♪教科書の目次のページの右下にあるQRコードから音楽の鑑賞や、楽器のならし方などいろいろ学べます。興味がある人、もっと勉強したい人など思っている人は、ぜひ見てください。	【点描画】2枚目 <<めあて>>色合いを工夫して、丁寧に1つ1つ点をおして、絵をかこう。 ※プリントを参考に、取り組みましよう。 ※前回取り組んでいない方の画用紙にかきます。 ※作品の提出は、学校再開後の図工の時間です。			
昼食					
午後	体育 「加平小 体力向上運動カード」または学校HP「体力向上・お家でもできる運動・親子でできる運動に関するウェブサイトの紹介」から1つ取り組む。	体育 「加平小 体力向上運動カード」または学校HP「体力向上・お家でもできる運動・親子でできる運動に関するウェブサイトの紹介」から1つ取り組む。			
復習 タイム	漢字 漢字ド(解・困)をノートへ 計算⑧ ※計算ドリルノートに行い、丸つけ、ときなおしをましよう。	漢字ノート・ドリル・プリントの見直し※ふりがな忘れ、漢字の間違い(または直し)など全て見直しをして提出できるよう整えます。名前が書いてあるかたしかめましよう。 算数 教科書p.260◇10 ※算数ノートに行い、教科書p.285を見て丸つけ、ときなおしをましよう。			